

KIEX なび

※KIEXとは、公益財団法人 鹿児島市国際交流財団の英語表記Kagoshima International Exchange Foundationの略称です。



Event Report

イベントレポート

- ① 日本語支援グループワーク(後期)
 - ② 日本語支援ボランティア養成講座
 - ③ 世界各国のアフリカ系文化講座
 - ④ 英語文化講座
 - ⑤ 国際協力体験ワークショップ
 - ⑥ 世界の台所(第12回)
留学生が紹介するスリランカ料理&文化
 - ⑦ ハーティーパーティー
 - ⑧ 台湾文化体験講座～剪纸(切り絵)作り～
 - ⑨ 英語と韓国語で遊ぼう
- 登録団体紹介 ● 鹿児島市外国人相談デスク

Event Report イベントレポート



日本語支援グループワーク（後期）

開催日 1月12日～3月23日 **毎週水曜日** **全10回** **参加者数** 延べ104名

後期講座では有隣館代表の上迫氏、日本語教師の松本氏のコーディネートのもと、在住外国人と日本人ボランティアグループが、「音声ドラマ作り」に取り組みました。

在住外国人が考えたアイデアをストーリー化し、そのストーリーを基に、みんなで登場人物のセリフを考え、脚本として作り上げました。その後は、役になりきってセリフを練習し、リハーサルを行い、本番では緊張しながらも一連の音声ドラマを録音し、2つの作品を完成させました。

全10回の講座を終え、在住外国人からは「アクセントや抑揚が難しかった」との意見があり、普段の生活の中においても自然な日本語を話そうとする意識を持つ良い機会となり、以前と比べて日本語を話す自信がついたようです。



日本語支援ボランティア養成講座

開催日 1月25日～2月22日 **毎週火曜日** **全5回** **参加者数** 20名

当財団では、在住外国人のための日本語支援事業を行っており、年に1回で支援ボランティアの養成も取り組んでいます。今回の日本語支援ボランティア養成講座は1月から2月にかけて全5回で開催しました。有隣館代表の上迫氏を講師に招いて進められた今回の講座では、在住外国人という存在について理解することから始めて、言語習得における支援とは何なのかについても学びました。そして、授業計画を立ててみたり、さまざまな教材や教具の活用の仕方などについても勉強しました。

ボランティア養成講座の醍醐味は、実際の外国人を相手にした実戦練習を行うことです。ベトナム、ネパール、中国、フランスなど、様々な出身の外国人を相手に、受講者の皆さまはそれぞれ用意してきた「ネタ」を基に支援を行いました。飲食店のメニューを使ってその中の日本語について教えたり、注文の際に使うフレーズを練習したり、受講者の皆さんは本番の支援を想定して一所懸命に活動に取り組みました。



世界各国のアフリカ系文化講座

開催日 2月20日(日)DAY1・2月26日(土)DAY2・2月27日(日)DAY3

参加者数 延べ88名

2月はアメリカにおいての黒人歴史月間で、アフリカ系の偉人や様々な理由で移住されたアフリカ出身者の歴史を回想する期間です。これに因んで、鹿児島在住アフリカ系外国人の皆さまが主体となり、世界各国のアフリカにルーツを持つ人々の歴史や文化を紹介するイベントを開催しました。

3日間に渡って開催した今回のイベントの初日には、タンザニアとウガンダ出身の在住外国人講師から出身国の紹介や黒人文化への人々の認識と現実について解説していただきました。二日目には、ガイアナとアメリカ出身の講師から、黒人奴隷のお話、そして黒人差別問題などの黒人の社会的話題について解説しました。普段はあまり聞けない深い内容で、参加者の皆さまも真剣に講師の話に耳を傾け、講師に向けた質疑もたくさん寄せていただきました。

最終日には、映画「黒い司法 0%からの奇跡」を上映し、その文化的背景等の解説がありました。冤罪を通して黒人差別問題を取り上げた映画の内容は非常に考えさせることが多くものでした。映画の中のワンシーンのように、運転中に警察に呼ばれたら、銃を持っていないという合図として必ずハンドルの上に手を置くようにと、小さい頃から親に教わっていたというアメリカ出身の講師の話に参加者の皆さまは深い印象を受けたようでした。

それぞれアフリカ系文化を知り、また人種差別問題など普段は意識していなかった深い内容に触れ、良い刺激を受けられたようでした。



英語文化講座

開催日 2月22日～3月15日 毎週火曜日 全4回

参加者数 ①19名 ②18名 ③16名 ④18名

2月22日から3月15日までの毎週火曜日、外国人講師によるAll Englishでの「英語文化講座」を開講しました。受講者は全4回にわたり各講師出身国について、プレゼンテーションやディスカッションを通して学びました。

- 第1回 Stephanie先生(カナダ)「カナダ先住民寄宿学校制度について」
- 第2回 David先生(オーストラリア)「サメ(自然)との共存について」
- 第3回 Thomas先生(イギリス)「お茶の歴史とイギリスにおけるお茶文化について」
- 第4回 Steve先生(アイルランド)「アイルランドの民話(伝説)、妖怪について」

受講者からは、「同じ英語圏だけど、全4回で異なる国に触れられたことが良かった。」「毎回違うグループでディスカッションができて新鮮に感じた。」等のお声をいただきました。今後も国際交流センターでは、英語を含む語学講座やさまざまな語学・文化に触れるイベントを開催していきます。どうぞお楽しみに！



国際協力体験ワークショップ ～カードゲームでSDGsとJICAの取り組みを学ぼう～

開催日 2月27日(日) **参加者数** 7名

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、「国際協力体験ワークショップ～カードゲームでSDGsとJICAの取組を学ぼう～」を開催しました。

前半の講話部分では、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組むべき理由や身近にあふれているSDGs、JICA(独)国際協力機構)の役割等について学びました。

また、講師の仮屋氏から青年海外協力隊員としてモルディブで体育教師として活動されていたご自身の経験や、日本がモルディブの防波堤を整備し、現地の皆さんが感謝していること、その恩返しとして、東日本大震災の際に救援物資としてモルディブ特産のツナ缶を救援して送ったことなどについてお話をいただきました。

後半のSDGsアクションゲームでは、SDGsに関する課題について自分の手持ちのアイテムカードを使い、解決していくことに挑戦しました。

今回参加してくれた中学生から短大生までの皆さんからは、「ぼんやりとしていた、SDGsや国際協力が今日の活動ではっきり見えてきた」や「人と話すことで自分の視野が広がった」等の声が寄せられました。



「世界の台所(第12回)」留学生が紹介するスリランカ料理&文化

開催日 3月13日(日) **参加者数** 8名

センター調理室を活用し、鹿児島在住の外国出身者を講師に、外国の台所を訪ねるように料理と文化習慣等を体験してもらう「世界の台所」の第12回をスリランカからの留学生・イシャンさん、ティリニさんご夫妻を講師に迎えて実施しました。

調理実習(下記3品)と文化・習慣、日本との繋がり等についての講話の両面でスリランカを紹介していただきました。

調理実習(3品) කුකුළු මස් කිරිය (ククル マス カリア) チキンカレー
අල කිරිය (アラ カリア) ジャガイモのカレー
සලාද (サラダ)

(令和3年度全12回分のレシピはホームページでご覧いただけます)



ハーティーパーティー ～新入外国人の歓迎交流会～

開催日 3月20日(日)

参加者数 136名(うち外国人10か国53名)

11月上旬に開催予定だったハーティーパーティーでしたが、新型コロナの影響で延期となり、ようやくこの時期に行うことが出来ました。各国ブース、着物や民族衣装の試着、生け花や遊び、ダンスステップ、バンブーダンスなどの体験ブース、そしてベトナムの伝統的な踊りによるパフォーマンスなど、新型コロナ感染予防に気をつけながらも大いに盛り上がった交流会となりました。

終わった後の感想として、「新型コロナによって何もかも自粛をする風潮の中でもこのような交流会を工夫して開催してくれたことに心から感謝したいです。」といった声を寄せて下さる方が多かったです。次年度は更に盛り上がる会がきっと出来るはずなので、また外国人・日本人団体やボランティアのみなさんと一緒に楽しんで作っていきたいと思います。



台湾文化体験講座～剪紙(切り絵)作り～

開催日 3月26日(土) **参加者数** 20名

台湾文化交流会in鹿児島島の黄敬蓉(コウ ケイヨウ)氏を講師に迎え、「台湾文化体験講座～剪紙(切り絵)作り～」を開催し、20名の方々にご参加いただきました。

剪紙(せんし)とは、春節(旧暦のお正月)など伝統的な行事の際に用いる切り絵細工のこと。文字や花、動物、干支などをモチーフにしたものをハサミで切り出して作られ、縁起物とされています。

講座では、台湾の名物をはじめ、日本との関係、多民族社会、さまざまな剪紙をご紹介します。そしていよいよ剪紙体験へ。まずは簡単なお金をモチーフにした剪紙から始まり、切ってはいけない部分を切ってしまう、作り直したり、次の工程を講師と確認しながら慎重に切ったりと、皆さん苦戦しながらも合計4種類の剪紙を完成させました！！

参加者からは「体験することで、座学だけではなく、台湾に興味が出ました」とのご意見をいただき、この講座を通して台湾文化への理解を深めることができる良いきっかけとなったようです。



英語と韓国語で遊ぼう

開催日 4月10日(日) **参加者数** 14名

3歳から6歳のお子さんを対象に、「英語と韓国語で遊ぼう」を開催し、5家族14名にご参加いただきました。

鹿児島市のALT プレジャーさん(アメリカ出身)に「We are going to hunt」(クマ狩りに行くお話)を読み聞かせしていただきました。

子どもたちも、プレジャーさんと一緒に冒険にでかける気分、体を使った言葉遊びに参加してもらいました。

プレジャーさんは子どもたちが興味を引くように、工夫を凝らしてくださり、ただ座って英語絵本を読むのではなく、子どもたちと部屋中を歩き回り、体全体を使って、英語を体感させてくれました。

日置市の国際交流員イム・アルムさんは、韓国の民族衣装の、「ハンボク」チマ=スカート、チョゴリ=上着を着て、韓国の昔話「おひさまとお月さまになった兄弟」の読み聞かせをしてくださり、絵本に出てくるトラの声真似が上手で子どもたちも喜んでいました。

読み聞かせ後は、韓国語の挨拶・食べ物や文化の紹介を学び、7つのパズルを様々な形に組み合わせて動物や家を作って遊ぶ「ちるぎょ・のり(ちるぎょ=7つのパズル・のり=遊び)」を楽しみました。子どもたちは少し難しく感じていたようですが、思い思いのパズルの組み合わせを楽しんでいました。

参加者の皆さんは、親子で英語と韓国文化に触れる楽しい時間を過ごせたようです。



鹿児島市外国人相談デスク

令和4年7月1日から、鹿児島市国際交流センターに『鹿児島市外国人相談デスク』を開設しました。

鹿児島市在住の外国人を対象に、在留資格・仕事・病気・出産・子育て・子どもの教育など日常生活で困っていることを、15言語とやさしい日本語で相談できます。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

場 所:鹿児島市加治屋町19-18

受 付 日:火曜日から土曜日

※月曜日が祝日の場合は開所し、翌平日が休み、12/29～1/3を除く

受付時間:9:00～16:00

電 話:090-9407-2266

対応言語:英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・フィリピン語・ベトナム語・タイ語・フランス語・ネパール語・ヒンディー語・ロシア語・インドネシア語・ミャンマー語・ウクライナ語

※一部予約制の言語もありますのでご了承ください



〈登録団体紹介〉

鹿児島市国際交流センターの登録団体を紹介します!

鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会

当団体は、県内の中高生を発展途上国に派遣し、その国で活躍している青年海外協力隊員との交流や意見交換、現地でのホームステイや学校訪問などによる交流を通じて、国際協力や国際理解についての認識を深め、国際性豊かな人材の育成に取り組んでいます。

平成3年の派遣開始からこれまでに東南・南アジアの計7カ国に347名の中高生を派遣しています。(令和2・3年度は派遣を休止)

主な活動

- 県内中高生の東南アジアへの派遣(協力隊員活動視察、ホームステイ等)
- 事前研修(2回)
- 帰国後の表敬訪問(県庁・協賛企業)
- 帰国報告会



◀ 現地での協力隊員の活動視察(写真は、保健師の協力隊視察の様子)



◀ 各家庭に一人ずつのホームステイ(4泊5日)



▲ 現地の学校での互いの文化紹介交流

皆さんに一言

「学生のうちは、チャンスが色々なところに転がっています。少しでも興味があったら、不安はあるかもしれないけれど、まずは一歩踏み出してみてください。新しい自分や新しい世界に出会えるはずですよ。失敗しても大丈夫!まずは、挑戦してみよう!!」(派遣団員OBからのメッセージ)

連絡先

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号
かごしま県民交流センター1階
鹿児島県国際交流協会内
TEL:099-221-6620 FAX:099-221-6643
Email:kia7@kiaweb.or.jp

Facebook



協力隊OBと留学生が先生事業実行委員会

当団体は、帰国した元JICA海外協力隊員と鹿児島県内に在住する留学生等を、県内の小中学校及び特別支援学校に派遣し、児童・生徒の国際協力や途上国に対する理解を深め、国際性豊かな人材の育成に取り組んでいます。

令和3年度は35校の小中学校で授業を実施し、児童・生徒の国際協力や途上国に対する理解を深めていただきました。

主な活動

- 小中学校及び特別支援学校での文化紹介授業(例)・外国語であいさつ体験 ・外国の遊び体験 ・外国の文字体験 など



▲ インドネシアの楽器の紹介



▲ カンボジアのあいさつの紹介



▲ 中国の食べ物の紹介

皆さんに一言

皆さんも、実際に開発途上国で生活していた日本人の話や、鹿児島で生活している外国人の話や、一緒に世界のこと、日本のことを考えてみませんか? 学校関係者の皆様、ぜひお気軽にお問い合わせください。

そして、留学生をはじめ在住外国人の皆さん。あなたの国のことについて鹿児島の小・中学生に話してみませんか?

連絡先

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号
かごしま県民交流センター1階 鹿児島県国際交流協会内
TEL:099-221-6620 FAX:099-221-6643
Email:kia6@kiaweb.or.jp

講座・イベント カレンダー

2022年
7月 ▶ 10月

申込方法

参加をご希望の方は、Eメール・FAX・郵送等で(電話でのお申込みはできません。)
1. イベント名 2. 住所・〒 3. 参加者全員の氏名(ふりがな) 4. 電話番号を書いてください。 ※場所は全て「かごしま国際交流センター」 ※参加費:無料

7~10月 【アジアン・鹿児島 オンライン交流会 青少年ワーキングボランティア募集】

- 内容: 海外青少年芸術団体とのオンライン交流会の企画・運営
- 対象: 中学生以上、概ね25歳までの方
- 日時: 毎月第1・第3日曜 13:30~15:00(全7回)
7月24日~10月16日(初回のみ第4日曜)
- 定員: 20名(超えたら抽選) ● 申込期限: 7月15日(必着)

8月 【外国人住民のための夏休みの 宿題サポート & 教育に関する相談会】

- 内容: 日本語支援が必要な児童生徒の夏休みの宿題サポートと教育に関する相談会
- 対象: 鹿児島市に居住・通学する日本語支援が必要な児童生徒とその保護者
- 日時: 8月11日(木・祝)、12日(金)13:00~16:00
- 定員: 宿題サポートは各日10名程度、個別相談は各日6名程度
- 申込期限: 7月28日(必着)

8月 【国際協力体験イベント】

~自由研究応援イベント! 青年海外協力隊員にお話を聞いてモルディブ新聞を作ろう! ~

- 内容: 青年海外協力隊員として派遣されていた隊員からモルディブのことやJICAについて学べる講座
- 対象: 小学校4年生~6年生 ● 日時: 8月7日(日)14:00~15:30
- 定員: 20名程度(超えたら抽選) ● 申込期限: 7月26日(必着)

8月 【よくわかる! シンガポールの今】

~現地からのレポート~

- 内容: シンガポール在住の方からZOOMでシンガポールの今を学ぶ講座 ● 対象: 小学生以上
- 日時: 8月28日(日)13:30~15:00 ● 定員: 20人
- 申込期限: 8月19日必着

8月 【夏休み! アートワークショップ】

~外国の先生と自由に絵を描こう~

- 内容: 外国の文化紹介及び講師との対話を通して楽しく絵を描きましょう ● 対象: 小学校1年生~3年生 ● 日時: 8月25日(木)13:30~15:30 ● 定員: 10名(超えたら抽選) ※保護者は各家族1名まで ● 申込期限: 8月18日(必着)

9月 【韓国文化講座】

- 内容: 在住韓国人講師による韓国の伝統衣装(韓服)にまつわる文化講座。チマチョゴリ等の試着、伝統行事の紹介など
- 対象: どなたでも ● 日時: 9月4日(日)10:30~12:00
- 定員: 30名(超えたら抽選) ● 申込期限: 8月26日(必着)

8~9月 【日本語支援 プロジェクトワーク】

- 内容: 在住外国人と日本人ボランティアのグループで外国人向けの漢字教科書を作成しながら、その過程において日本語支援を行います。
- 対象: 在住外国人 ※日常会話初級以上
- 日時: 8月24日(水)~9月29日(木) ※毎週水・木 全12回 13:30~15:30 ● 定員: 日本人、在住外国人 各8名(超えたら抽選)
- 申込期限: 8月12日(必着)

9月 【国際協力講演会】

- 内容: JICA青年海外協力隊事務局長による講演や紛争後の復興における青年海外協力隊員の活動についてのパネルディスカッション ● 対象: どなたでも
- 日時: 9月24日(土)13:30~16:00
- 定員: 80名 ● 申込期限: 9月17日(必着)

賛助会員募集! ~市民の皆さまによって支えられています~

鹿児島市国際交流財団は、多くの市民の皆さまによって支えられています。鹿児島市国際交流財団の活動に賛同してくださる賛助会員の皆さまを募集しています。

会員特典

- 各種イベントへの優先案内及び参加料金の割引
- 会報誌の送付や国際交流に関する情報の提供
- 財団ホームページでのバナー広告掲載(団体会員のみ)

年会費

- 個人会員(1口)1,000円
(家族会員及び10月以降加入の会員は500円)
- 団体会員(1口)10,000円から

入会資格

- 当財団の目的(国際交流等)に賛同し、後援する個人または団体

申込方法

当財団事務局で受け付けております。申請書はホームページもダウンロードできますので、記入の上、郵送等によりお送りください。また、希望者には申込書を送付いたします。どうぞお気軽にお問い合わせください。

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団

鹿児島市国際交流財団は、市民主体の幅広い国際交流活動を促進することにより、国際相互理解を深め国際協力意識の高揚を図るとともに、地域の多文化共生を推進し、国際都市鹿児島の発展に寄与することを目的としています。



国際交流の 推進

市民と外国人の親善・交流を深めよう!

国際理解の 推進

市民と在住外国人に
お互いのことをもっ
と知ってもらおう!

国際協力の 推進

市民による国際協力・
貢献活動を支援しま
す!

多文化共生の 地域づくりの推進

市民と在住外国人が
共に生きていく地域
づくりを支援します!

〒892-0846 鹿児島市加治屋町19番18号 TEL(099)226-5931
FAX(099)239-9258 E-mail:kokusai@kiex.jp HP:http://www.kiex.jp
[開館時間]9:00~21:00(日曜日及び祝日は9:00~17:00)
[休館日]月曜日(祝日と重なる場合はその翌日)・年末年始(12月29日~1月3日)

リサイクル適正(紙へのリサイクル可)